京都橘大学
KYOTO TACHIBANA UNIVERSITY

公募推薦 直前対策講座
【基礎テスト対策 国語】

２０２３年１０月

講師：青木 新吾（代々木ゼミナール）

２０２３年度　京都橘大学　公募推薦直前対策講座　国語

【傾向】

京都橘大学の入試の国語は、現代文（評論）と国語常識の大問４題で構成される。そのすべてにおいて、標準的な学力がいかに定着しているかが試されるようになっている。

文章題については、高校３年生であれば読んだことがある、ないしは、読めるであろうものが出題され、設問は、接続詞、空欄補充、傍線部説明、内容一致など、記述以外の私大客観マーク形式における全てのパターンが用意されている。本文全体を余すところなく問う形となっており、キチンと文章を読むことが要求される。国語常識については、文学史、四字熟語、漢字まで、隅々まで問われる。

試験時間は選考方法によって違いがあるので「入試ガイド」をよく確認すること。過去問をしっかり分析し、適切な学習を行っていれば、現代文と国語常識の全てに取り組むには十分な制限時間であり、一つ一つにじっくりと向き合うことができるだろう。

【対策】

大まかなことを記すと・・・

学校の教科書に載っている文章は読めるようにしておこう。授業で扱われなかったものに関しても、時間を作って読んでみてほしい。論理展開をしっかりと追いかけながら、分からない語句が出てきたら、必ず辞書を引き、その場で頭に意味を叩き込んでいこう。

過去問をメインにして演習に取り組もう。加えて、「実践演習現代文　標準」（桐原書店）や、「大学入試　全レベル問題集　現代文　３私大標準レベル」（旺文社）など、標準的な問題集を１冊は仕上げておきたい。その際にも、出てきた漢字や語句について、分からなければ、その都度辞書をひいて覚えていくこと。

読解の途中で辞書を引く習慣だけではなく、国語常識をクリアするために、漢字の問題集は1冊仕上げておこう。２０００程度、意味が記されているもの、であれば、大概は問題ない。そういう問題集であれば、巻末に四字熟語、ことわざ、慣用句まで載っており、完璧に仕上げることで十分対策になる。

文学史については、薄い文学史の問題集、さらには「国語便覧」を必携したい。数ある文学作品は全て読めるものではないが、「国語便覧」は、著名な作家の有名な出典がコンパクトにまとめて説明されている。問題集と合わせて、明治以降の作家のページは、ことあるごとに読み込んでいこう。

京都橘大学の国語入試で問われる内容は、例えば、生きていく上で「漢字」から逃れることはできないように、入学のためだけでなく、今後の人生でも役に立つことが多い良問である。これを機に、これから生きていく上での糧を身につけるきっかけとしてほしい。

各設問に対する「具体的な」対策は、この後の授業で・・・

Ⅰ　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1　事物はその有用性によって「使用価値」となるとマルクスは言います。この有用性は一方では「商品体」の属性に制約されています。鉱石は食品（生活手段）とならず、紙ならハンマー（これはいわゆる生産手段でもあります）になりません。それでは、事物はいつ商品となるのでしょうか。これは、すこし考えておく必要がある問題です。

2　店先にならんでいる品物は、じつはいまだ商品ではありません。その有用性はなお実現されていないからです。パン屋にとってパンは売るためにあるのであって、食用とする（享受する）ために置いてあるのではありません。パンの有用性は口にされることで現実のものとなって、咀嚼され、飲みこまれることで有用性そのものが消失します。ハンマーならば（ハイデガーが好んだ例でもあります）、手にとり、釘を打ちつけるとき、その使用価値がそのつど発見されると語るべきかもしれません。**あ**　私が荒物屋で買ったハンマーを振るう場合そのハンマーはもう商品ではなく、じぶんの大工道具のひとつです。店頭にある品物は、やがて商品になる可能性をもったものです。食卓にならんだパンや道具箱に入れられたハンマーは、かつて商品であったものにほかなりません。そう考えるならば、商品であるという現在はほんとうはどこにも存在せず、商品とふつう呼ばれているものは未来の可能性にあって商品であり、その可能性が実現されたときにはもはや商品ではないことになります。（①）

3　いつでも可能性においてあるほかはないものとは、運動しているもののことでしょう。アリストテレスがそう定義していたように（『自然学』）、運動しているものにとって、可能性でありつづけることだけが、その現実的なありかたです。目標に到達し、あるいは運動が阻まれて静止するなら運動は終了します。商品はそれが売れて、じっさいに使用され、もしくは消費される終点にたどりつけば、なんらかの有用性をもった、しかしただのもの、正確にいえば食料品だったり、道具となったりします。（②）

4　アリストテレスは『政治学』のなかでこんなことを書いています。所有されている事物にはどれも、他方はそうではない。「たとえば靴たつは、ともに事物にそくしたものでありながら、その一方は事物に固有の有用性であるけれども、ふたつの有用性がある。そのふには履くという有用性と、**A**　としての有用性がある。両者のどちらにしても靴の有用性である。靴を欲する者に対して、貨幣あるいは食糧と引きかえに靴を与える者も、やはり靴を靴として用いている。とはいえそれは靴に固有の使用法ではない」。このアリストテレスの例示をしばらく手がかりとしてみましょう。

5　**い**　パンと交換することが「靴に固有の使用法ではない」のは、靴はもともと履くために作られたものであり、食糧や貨幣と交換するために制作されたわけではないからです。ここにはふたつのことがらが絡まっています。第一にそもそも靴がきちんとした靴、履くのに適した物品でないなら、パンと取りかえることもできません。（③）

6　もう一点はこうなります。ひとが履くためではなく、食べ物と交換するために靴をつくっているとします。そのばあい靴はそもそもその者にとって使用価値をもちません。制作される靴にはなにか、たとえばパンと交換されるというはたらきだけが期待されています。つまり使用価値ではなく交換価値だけを、靴はそのつくり手に対して有しているにすぎない。その場合でももちろん靴はちゃんとした靴でなければ、一定の使用価値をそなえていないならば、交換価値のにない手となることすらできません。ただその使用価値は、生産者にとっての使用価値ではありません。それは「他者に対する使用価値」でなければならない。――このとき靴はたんに生産物であるだけではなく、同時に商品となります。正確にいえば、商品となる運動を開始するはこびとなるでしょう。「商品を生産するためにその者は、たんに使用価値を生産するだけではなく、他者に対する使用価値を、すなわち社会的使用価値を生産しなければならないのだ」。この一文にエンゲルスが補足もしているように、さらに「商品となるために生産物は、それが使用価値として役だつ他者へと交換によって移されなければならない」わけです。かくて商品はその　**B**　な使用価値そのままに、ただし他者にとっての使用価値であることで交換価値の素材的なにない手となる。マルクスが考察しようとする社会形態とは、そのような意味での商品交換が全面化した社会のありかたを前提としています。（④）

7　ある商品の交換価値は、さしあたり他の商品との交換比率として、量的なかたちであらわれます。たとえば「一足の靴＝一〇斤のパン」のようにです。むしろ例がちょっと人工的に見えてしまうでしょうか。ここではいったん、マルクスに戻ったほうがいいかもしれません。

8　交換価値とは、とりあえず「ある一種類の使用価値が他の種類の使用価値と交換される　**C**　」としてあらわれる価値のことです。一クォーターの小麦ならば、それは他のさまざまな商品、たとえば靴墨や絹や金等と交換される。そのばあい交換される比率、つまり相手の商品量は、それぞれにことなっている。だから小麦は複数の交換価値を有しているのであり、唯一の交換価値をそなえているのではないことになります。しかし、とマルクスは付けくわえて、こう説いてゆきます。

9　しかし、x量の靴墨もy量の網もz量の金そのほかも、一クォーターの小麦の交換価値なのであるから、x量の靴墨やy量の網やz量の金等は、たがいに置きかえることのできる、または相互にひとしい大きさの交換価値でなければならない。かくて　**D**　するのは、第一には、同一の商品の妥当な交換価値であるならば、それはひとつのおなじものを表現しているということである。第二にはしかし、交換価値は総じてたんなる表様式、交換価値とは区別可能な或る内実の「現象形態」でしかありえないということなのである。

10　靴墨も網も金も、すべて同一量（一クォーター）の小麦とそれぞれにことなった量（x、y、z）で交換され、　**え**　おのおのの比率は「妥当な」ものである、とします。その場合、そのつどの交換価値が「表現する」のは、おなじものでなければならない。その同

一のものとは、一定量の小麦が有する価値そのものであり、一クォーターの小麦がしめすそのときどきの交換価値は、すべてこのおなじもの、すなわち価値の「現象形態Erscheinungsform」にほかならないことになるわけです。（⑤）

（出典　熊野純彦『マルクス資本論の哲学』なお、問題作成上、一部省略してある。）

問1　空欄 **あ** ～ **え** に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

あ　①　たしかに　②　ただし　③　すなわち　④　むしろ

い　①　なぜなら　②　だが　③　たとえば　④　ところで

う　①　つまり　②　じつは　③　まして　④　しかし

え　①　あるいは　②　それゆえ　③　ようするに　④　しかも

問2　空欄 **A** ～ **D** に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

A　①　生活用品　②　移動手段　③　貨幣　④　交換物

B　①　全面的　②　具体的　③　主観的　④　人間的

C　①　物質的現実　②　量的関係　③　数値目標　④　社会形態

D　①　俯瞰　②　完成　③　帰結　④　形成

問3　本文中、次の一文が省略されている。（①）～（⑤）のどこに入れるのが最も適当か、番号をマークしなさい。

マルクスのことばを使うなら、そのいみで靴の有用性、その使用価値が交換価値のにない手となるわけです。

問4　「商品」の「現実的なありかた」についての説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

①　過去において市場に登場し、交換の対象となったものの、すでにその役割を終えていること。

②　今後、実際に使用され消費される可能性を内包する、運動体であること。

③　生産現場において素材が商品へと姿を変え、市場で交換されること。

④　商品となる可能性を内包しつつも、いまだ市場においてその価値を認識されていないこと。

問5　本文の内容に合うものを、次の中から二つ選び、番号をマークしなさい。ただし、解答の順序は問わない。

①　交換価値は、ある事物の使用価値と他の事物の使用価値を一体的に捉えることで形成される。

②　事物には、それ自体が持つ有用性としての価値と市場において交換される価値の二つがある。

③　小麦は靴墨や絹、金などさまざまな事物と市場で交換されるが、交換比率はおなじである。

④　生産者以外の誰かにとっての使用価値、すなわち社会的使用価値が内包されている事物が商品となりうる。

⑤　店頭に並んでいる品物を商品と呼ぶことはできず、他者によって購入され、その有用性が実現されることで商品は形成される。

⑥　交換価値とは市場において発見される現象形態のことであり、この形態においては使用価値は姿を消してしまっている。

II　次の**1**～**5**の説明に当てはまらないものを、それぞれの選択肢の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

1　私小説的リアリズムとは異なる新しい文学の構築を目指した新感覚派の作家。

①　横光利一　②　川端康成　③　安部公房　④　中河与一

2　第一次戦後派（野間宏、武田泰淳ら）、第二次戦後派（三島由紀夫、大岡昇平ら）に続いて登場し、「第三の新人」と呼ばれた作家。

①　遠藤周作　②　安岡章太郎　③　吉行淳之介　④　大江健三郎

3　貧しい家族の生活を支えながら短期間で集中的に作品を発表したのち早世した樋口一葉の作品。

①　『にごりえ』　②　『たけくらべ』　③　『藪の鶯』　④　『十三夜』

4　乃木希典の殉死を機に、歴史に題材をとるようになった森鷗外の歴史小説。

①　『高瀬舟』　②　『阿部一族』　③　『山椒大夫』　④　『雁』

5　与謝野鉄幹が主宰した雑誌『明星』に参加した歌人。

①　石川啄木　②　吉井勇　③　釈迢空　④　北原白秋

III　次の空欄 **ツ** ～ **ニ** に入れるのに最も適当なものを、それぞれの選択肢の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

1　先生の教えを［ツ］とするのは感心しない。
①　切磋琢磨　②　一意専心　③　虚心坦懐　④　金科玉条

2　定見のない人は多数派に［テ］しがちだ。
①　付和雷同　②　疑心暗鬼　③　喜怒哀楽　④　捲土重来

3　彼の言うことは独善的で［ト］がひどすぎる。
①　大同小異　②　二律背反　③　岡目八目　④　我田引水

4　あなたに再会できるのを［ナ］の思いで待っている。
①　一寸光陰　②　一朝一夕　③　一陽来復　④　一日千秋

5　組織では［ニ］が迅速に行われることが大切だ。
①　日進月歩　②　巧言令色　③　上意下達　④　談論風発

Ⅳ　次の**1**～**5**の傍線部と同じ漢字を含むものを、それぞれの選択肢の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

1　次の選挙へのフセキを着々と打つ。
①　傾きかけた会社の再建にフシンする。
②　相互フジョの精神は大切ではある。
③　皆の前で将来のホウフを語る。
④　悪意に満ちた噂がルフしている。
⑤　彼の話は事実と完全にフゴウする。

2　監督のシンボウエンリョには驚かされる。
①　重ね重ねの不手際をシンシャする。
②　もうしばらくのシンボウだと思うから我慢できる。

③　コンシンの力を振りしぼって抗議した。
④　別荘をフシン中だ。
⑤　容疑者の証言にはフシンな点が多い。

3　この政策は地域の活性化にシすると期待されている。
①　政府の強引な政策は世論からのシダンを受けた。
②　アンケート調査をジッシする。
③　土地にトウシする。
④　採算をドガイシして事業に取り組む。
⑤　今頃彼はさぞセッシヤクワンしていることだろう。

4　手を広げすぎてシュウシュウがつかなくなった。
①　海外移籍を目指す選手のキョシュウが気になる。
②　意見をシュウヤクする。
③　全員無事との連絡を受けてシュウビを開く。
④　シュウトク物を派出所に届けた。
⑤　校舎のホシュウ工事が始まった。

5　権力をコジするような振る舞いをする。
①　コダイ広告は法律で規制されている。
②　テンコをとって全員いるかどうか確認する。
③　ショウコがなければ裁判で勝ち目はない。
④　職場からのカイコ通告にショックを受けた。
⑤　あの作家は才能がコカツしてしまったのだろうか。

解答

Ⅰ

問1
あ ②
い ③
う ①
え ④

問2
A ④
B ②
C ②
D ③

問3
③

問4
②

問5
②・④

Ⅱ

1 ③
2 ④
3 ③
4 ④
5 ③

Ⅲ

1 ④
2 ①
3 ④
4 ④
5 ③

Ⅳ

1 ④
2 ①
3 ③
4 ④
5 ①